

大阪弁

田辺聖子の
こだわり
と技法

2025年10月25日(土)～2025年11月24日(月・休)

大阪生まれの田辺聖子(1928-2019)は、生涯、関西で暮らし、作家として活躍しました。「私は大阪弁で発想するから、登場人物も大阪弁だ。舞台も上方だ」(『楽天少女通ります 私の履歴書』)と自ら述べていたように、「大阪弁」を駆使した数多の小説やエッセイを残しています。その「大阪弁」は作家の宮本輝氏から「田辺大阪弁」とも呼ばれた独特なもので、軽妙な会話文と巧緻な表記に加え、小説の地の文で方言解説がなされるなどネイティブではない読者への配慮に特徴があったと言えます。また、「大阪弁」への思い(こだわり)は、『大阪弁ちゃらんぽらん』(初版1978)と『大阪弁おもしろ草子』(初版1985)の2冊にまとめられ、今日も読み継がれています。

本展では、田辺文学を語るうえで欠くことのできない要素である「大阪弁」に注目し、そのこだわりと技法にアプローチします。



④田辺聖子『大阪弁おもしろ草子』
⑤田辺聖子『大阪弁ちゃらんぽらん』
(いずれも中央公論新社)

「君は僕といえるのがいちばん、ええ、と
思うけどなあ。結婚したれや」

ヒトゴトのような語法は、大阪弁独特のもので、べつに彼が誰かのために、わたしに結婚をすすめているのではないのである。自分のことをいうときの、照れ隠しみたいな、もってまわったいい方で、わたしはそこが、大阪弁の老獪な点だと思う。

(田辺聖子『猫も杓子も』1969)

会期中イベントのご案内

【講演会】～特別企画展に関連した講演会を開催します
「お父さんみたいな人、知らんわっ。」は “I don't know...” でよいか
— 田辺聖子文学の翻訳あれこれ —

大阪樟蔭女子大学
国際英語学科教授

小森 道彦



同志社大学
グローバル・
コミュニケーション学部
助教

Jennifer
Rose Smith



日時 11月22日(土) 13:30～14:30(受付開始 13:00)
会場 学校法人樟蔭学園 記念館 101教室
会費 無料 定員 30名(申込先着順)

【ギャラリートーク】

～学芸員が常設展示と
特別企画展について解説します

日時

①10月26日(日) 13:30～14:30
②11月11日(火) 13:30～14:30

(受付開始 13:00)

会場

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

会費 無料

定員 各回 15名(申込先着順)

申込方法

講演会とギャラリートークへのご参加についてはお申し込みが必要です。
下記URL または 右のQRコードからお申込フォームへアクセスしてお申し込みください。
<https://forms.gle/Cf4gcLPdfEZ6P2kS9>

お申込フォームが開けない方は下記のE-mailまたはFAXで、イベント名と開催日・氏名・連絡先(電話番号または E-mailアドレス)を明記してお申し込みください。締切は各イベント開催日の 3 日前です。



大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

所在地 〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 緑翠館1階

アクセス ・近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
・JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

休館日 日曜・祝日・大学の休業日(但し、10月26日(日)・11月24日(月・休)は開館)

開館時間 9:00～16:30

入館料 無料

URL <http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>

E-mail bungakukan@osaka-shoin.ac.jp

FAX 06-6723-8387



HPトップページ

